令和7年度　事業報告書

社会福祉法人　　恵風会

目　次

Ⅰ	理事長総括	1
Ⅱ	法人運営方針	
	理念	2
	倫理綱領	
	基本方針	
	重点目標	3
	事業内容	
	組織図	4
	委員会	5
Ⅲ	事業部別報告	6
	特別養護老人ホーム　恵風荘	7
	恵風荘　デイサービスセンター	12
	恵風荘　在宅介護支援センター	16
	介護老人保健施設　恵風苑	21
	恵風苑　通所リハビリテーション	25
	ケアハウス恵園	30
	恵風会ホームヘルパーステーション	34
	メモ	38

Ⅰ　理事長総括

我が国の生産年齢人口がどんどん減っていることは、いまでは誰もが認めるところでありますし、介護人材だけではなく、あらゆる分野の働き手が減っていることが大きな問題となっております。さらに2040年に向けて85歳以上の人口が引き続き増加していく中で、医療・介護の複合を抱える高齢者に社会サービスをどのように対応していくかということが非常に悩ましく、大きな課題と考えられています。介護保険制度は、高齢者の自立を支援しご家族の介護負担を軽減することを目的としています。その中で特別養護老人ホーム恵風荘と介護老人保健施設恵風苑は、介護ニーズに応えるために異なる目的と役割を果たしており、今後も役目を担っていく所存であります。現状、高齢者救急は医療現場に負担を与えるだけでなく医療費がかかるので、私ども老健施設の医療機能を活用して頂く事で、医療費の削減にもつながります。また介護サービスでは、老健施設は介護予防にも貢献できると考えておりますので、社会保障の持続可能性という点で、財政的にも貢献できると思っております。そして医療・介護を一体的に提供することで、在宅復帰や在宅療養支援を担っていくことがこれまで以上に重要であると考えております。

今後も社会福祉法人としての責務を果たすため、今谷・今在家の地域で福祉施設の役割及び福祉サービスを提供させて頂きます。恵風会は「地域における公益的な取組み」を通じて、地域に根差した介護施設として日々努力をしていく所存でございます。

理事長　　宮本　宣義

Ⅱ　法人運営方針

＜ 理念 ＞

1. 明るい施設、開かれた施設　何時でも、どこでも迅速に対応を
2. 温かい心、温かい手でよりよい、看護・介護を

＜ 倫理綱領 ＞

- 社会福祉法人恵風会の運営するサービス事業所に勤務する私達はサービスの提供を受ける利用者の方に対し、人間としての尊厳を守ります。
- 人権尊重とノーマライゼーションを念頭に専門的な知識と技術を提供します。
- どの利用者の方に対しても公平・公正なる事を守り、理念に基づき勤務します。
- 社会福祉法人恵風会に勤務する上で、私達は全ての人々の基本的人権を擁護し一人ひとりの対象となる方が心豊かな生活が送れるようにします。
- 利用者本位の立場から自己決定を最大限尊重しサービスを提供していきます。
- 私達は国籍、人種、民族、宗教、信条、年令、性別及び性的指向、社会的地位、経済的状態、ライフスタイル、健康問題の性質に関わらず対象となる人々を差別せず、全てかけがえのない存在として尊重します。
- 対象者の方のプライバシー保護の為、職務上知り得た個人情報を守ります。離職後も同じく守ります。

＜ 基本方針 ＞

1. 健全な事業経営の維持に努めます。
2. 利用者の人権を尊重します。
3. 利用者満足度の観点から、サービスの向上に努めます。
4. 地域社会に貢献できるよう努めます。
5. 職員の育成に注力します。

＜ 重点目標 ＞

1. 中重度の要介護者・認知症高齢者へのサービスを充実させます。
2. 在宅復帰支援を強化します。
3. 地域・公益事業への貢献をします。
4. 執行機関としての理事会を整備します。
5. 議決機関としての評議員会を整備します。
6. 社会福祉充実残額を明確化します。
7. 人材の確保・育成に力を入れサービスの質の向上に努めます。
8. 職員が働きやすい環境作りに取り組みます。

＜ 事業内容 ＞

第1種社会福祉事業

　特別養護老人ホーム

　軽費老人ホーム

第2種社会福祉事業

　老人デイサービスセンター

　老人短期入所事業

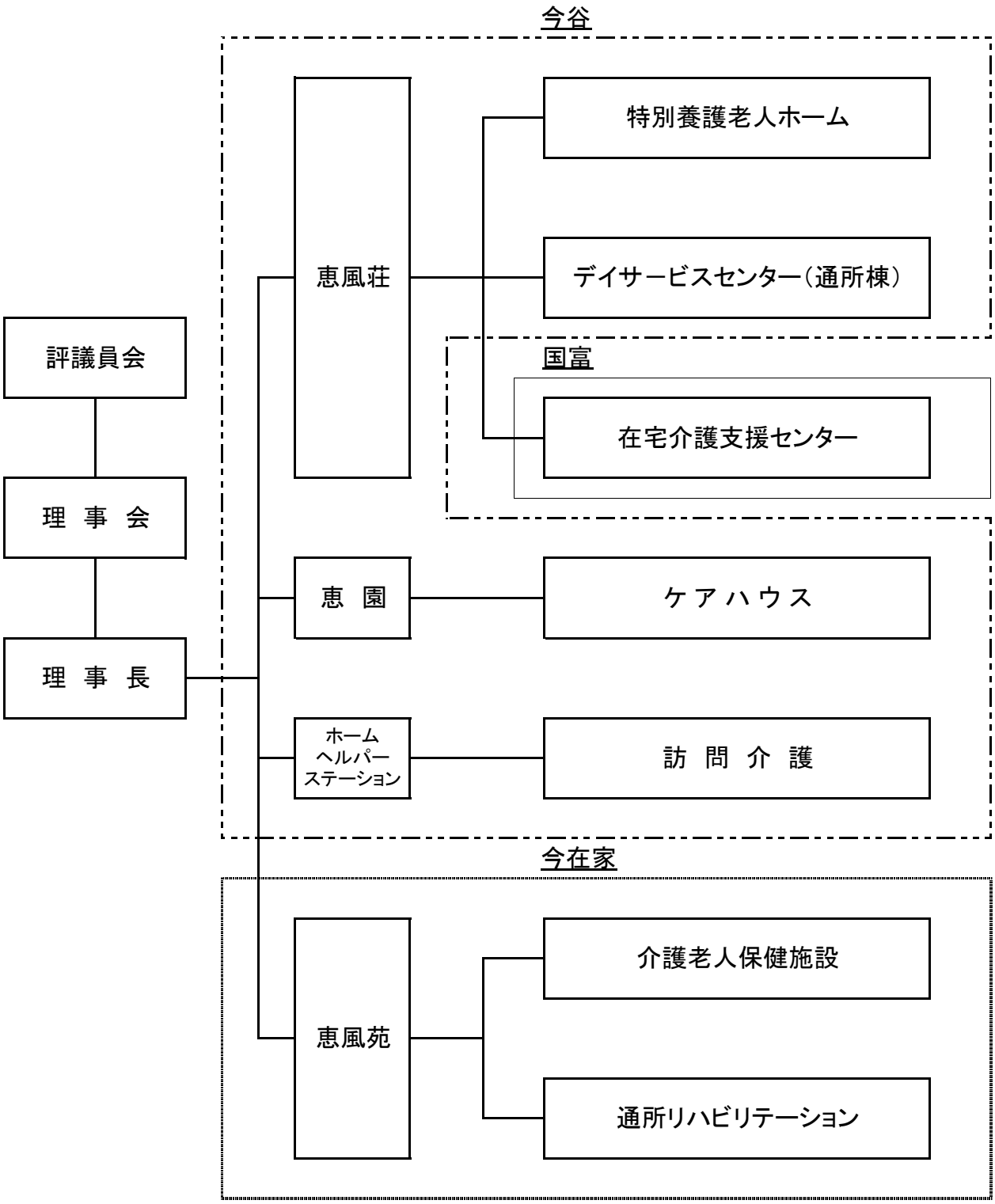
　介護老人保健施設

　老人居宅介護等事業

公益を目的とする事業

　居宅介護支援事業

＜ 組織図 ＞


今谷
恵風荘
特別養護老人ホーム
デイサービスセンター（通所棟）
国富
在宅介護支援センター
評議員会
理 事 会
理 事 長
恵 園
ケ ア ハ ウ ス
ホーム
ヘルパー
ステーション
訪 問 介 護
今在家
恵風苑
介護老人保健施設
通所リハビリテーション

＜ 会議・委員会 ＞

委員会名称	目　　的	開催時期	
法人 経営収支会議	社会福祉事業の担い手として、透明性ある安定的な経営のため、基盤の強化、且つ持続的な発展に向けて確保を図ります。	今谷 ・ 今在家	第4水 11:30～
法人 運営推進会議	法人の社会福祉事業の運営に纏わる、法令遵守の為の組織体制整備や業務管理体制整備など、適正な事業運営を推進することに努めます。	今谷 ・ 今在家	第2金 15:30～
法人 人事採用 検討会議	各事業所の人員充足状況の共有、人材の採用、離職者分析と離職対策、処遇、人材育成などに関する検討などを目的に取り組みます。	今谷 ・ 今在家	第2火 15:30～
法人 入所連携会議	利用者・家族の状況等の情報共有を行い、入所前後での相互連携を強化する事で、迅速且つ円滑なサービス移行により、利用者・家族負担等の軽減と地域における生活サービスの提供を図ります。	今谷 もしくは WEB にて	第2金 13:30～
生産性 向上推進	利用者様の安全、介護サービスの質の確保、職員の負担軽減の為、介護現場における生産性向上を促進し、現場の課題抽出・分析、事業所の状況に応じた検討を行い、対策に努めます。	今谷	各事業所 適　宜
		今在家	各事業所 適　宜
接遇教育	「全職員が恵風会の一員であることを忘れず、社会人として責任ある行動がとれること」を目的とし、人と人とのつながりを大切にし、よりよい施設となるよう接遇への取り組みに努めます。	今谷	随　時 13:30～
		今在家	第1水 14:00～
ＢＣＰ （事業継続計画）	「施設職員及び利用者様に対して防災意識を高め、防災訓練を実施し、生命の安全と施設の保全に努める」を目的として、非常時の対策として事業継続計画の作成と防災活動等に取り組みます。	今谷	第3金 16:15～
		今在家	第1水 15:00～
研修教育	研修の実施による人材育成と人材強化で職員の更なるスキルアップや専門性の向上を目的として、活動等に取り組みます。	今谷	各事業所 随　時
		今在家	第2水 14:00～
おいしい食事	「①利用者様により良く美味しい食事を提供し、食を通してご利用者様の健康維持に努める。②食中毒等衛生面に対する意識・知識の向上を図り、安全な食事を提供する。」を目的に取り組みます。	今谷	第2月 13:30～
		今在家	第2月 14:30～
感染対策 褥瘡対策	「感染症予防の徹底～持ち込まない！広げない！発生させない！」を目標として、活動等に取り組みます。 褥瘡の早期治癒に向け、継続的な観察や適切なケア、また予防対策を行うことを目的に取り組みます。	今谷	各事業所 随　時
		今在家	第2水 15:00～
広　報	広報誌・HP・各種イベント出店を通じ、社会福祉法人恵風会を広くに認知・ご理解頂くことに努め、選ばれる施設となれることなどを目的に取り組みます。	今谷	第3木 16:15～
		今在家	第3水 14:00～
事故防止 虐待防止 身体拘束廃止	事故発生時の対応や事故防止など、安全且つ適切な対応を整備することを目的に取り組みます。 虐待に関する苦情や発生した虐待についての分析及び改善策の検討と再発防止を目的に取り組みます。 身体拘束廃止を実現する為、ケア全体の質の向上や環境改善を目的に取り組みます。	今谷	各事業所 適　宜
		今在家	第4水 14:00～
よつば会	「社会福祉法人恵風会の職員をもって組織しており、会員相互の親睦及び資質の向上を図ること」を目的として、会の運営や活動に取り組みます。	今谷	随　時 16:15～
		今在家	随　時 適　宜

Ⅲ　事業部別報告

特別養護老人ホーム　恵風荘

施設長　　安井　由美子

生活相談員　川島　京子

Ⅰ　提供するサービス

1．特別養護老人ホーム

2．短期入所生活介護

3．介護予防　短期入所生活介護

Ⅱ　基本方針

1．利用者様の意思、人権及び尊厳を尊重し「良質かつ適切なケア」の提供に努めます。

2．より安心でより安全な生活を目指します。

3．一人一人の利用者様が、笑顔で心豊かな生活ができるよう、楽しく家庭的な環境の場を提供します。

4．利用者様及び家族の皆様の思いを受け止め、生活を支援します(傾聴・受容・共感)。

5．重度化、認知症高齢者等、利用者様の多様なニーズに応えられるよう、地域に密着した施設を目指します。

Ⅲ　目標への取り組みと評価

	令和7年度　具体的な目標と取り組み	結果及び評価
健全経営	○入所：94%（75名）を目標とします。 ○ショートステイ：80%（16名）を目標とします。新規利用者様、毎月3名の利用を目標とします。 ○経費の無駄を省き、健全な経営に努めます。	○入所：92.1%（73.6名）でした。コロナ・インフルの感染はなかったものの5月と8月は風邪が蔓延、その影響を受け入院者が増え、特に8月は17名の入院者となりました。また、入退所では12月後半から3月に長期入院者の退所と急に亡くなられる方が続き約3ヶ月で13名の退所者となり空床を埋めることができませんでした。入所申込数に関してはここ数年、申込者の減少も続いており危機感を募らせている現状です。 ○ショート：：67.2%（13.4名）でした。目標数値16名に対しては、近いところまで達成できた月もありましたが、ひと月のみの達成でした。日頃の空床状況などの情報を伝える機会を後期からは増やしました。新規利用者様は8か月で総数33名の利用者様をお迎えしました。達成率67%でした。コンスタントに新規受入れを行うにために居宅支援事業所へのアプローチ方法など考える必要性を感じました。 ○必要な物を必要な数だけ注文し、備品は大切に取り扱いました。
サービスの向上	○安心・安全なサービスが行えるよう、多職種間での情報共有を行い、 統一したチームケアに努めます。	○介護職員が充足出来ない中、多職種協同で一丸となり、介護サービス計画書に基づき、日々情報共有を行い、サービス提供に努めてまいりました。ご本人・ご家族のご意向に対しては、出来ること出来ないことをご相談させていただきながら対応をさせていただきました。 8月に風邪症状から入院へ至る方が増え、結果入院者が増加した時期がありました。感染症対策に努め、早期対応を行ってはいましたが、改めて高齢者にとって 眠りスキャン・ベッドセンサーなどの職員への理解・活用については前年度よりは理解も深まりました。引き続き、実用的にケアに活かせる取り組みに進めていきます。
人	○風通しの良い職場環境を作りに努めます。	○日々の申し送りや業務中の連携においてお互いに声を掛け合う場面は増えたように感じます。一方で業務多忙時は感情的になる場面や情報共有が出来ていないこともありました。

材育成	○研修に参加し、専門職としての自覚と責任を持ち、サービス提供に努めます。	○今年度は特に介護職員数の関係で計画も立てにくく外部研修への参加が非常に少ない結果となりました。 ○実務者研修への支援を行い介護福祉士合格へ繋がりました。今年度は3名の合格者でした。ミャンマーからの技能実習生が4名入職され新しい仲間が増え各職種がそれぞれの役割を果たしサービス提供を行いました
業務管理	○BCPの職員への周知に努めます。 ○ICTの効果的な活用を進めます。 ○リスク管理に努めます。 ○LIFEの活用に努めます。	○BCPについて研修、訓練などを行い職員への周知徹底に努めました。発生した際に職員一人ひとりがマニュアルの沿って実践しました。 ○眠りスキャン、ベッドセンサー離床センサーの理解、取扱いなどについて再度職員へ周知を行い、個別に対応しました。眠りスキャンからの心拍の乱れから早期に医師に相談なども行えるケースも増えました。 ○事故に関しては利用者様の高齢化・重度化もあり移乗介助時のリスクが高くなっている現状があります。また、大きな苦情はありませんでした。 ○LIFEの有効な活用まではできていない現状です。
地域貢献	○地域の皆様にとって開かれた施設であり、安心できる施設となれるよう努めてまいります。	○地域交流にはなかなか参加は出来ておりませんが、富山文化祭りへの作品展示は今年も行えました。 地域の皆様の相談窓口として、また、福祉避難所としての役割も引き続き行ってまいります。
家族の皆様へ	○安心してお任せいただけるよう、家族の皆様との信頼関係の構築に努めます。	○今年度もご家族の皆様との連携は非常に重要な繋がりであり、ご理解とご協力には感謝いたします。 利用者様の状態の変化やサービス内容の変更などについては、生活相談員や介護支援専門員、看護師など各職種が連携しながら、随時、説明・報告・相談を行いながら対応をさせていただきました。急な状態変化時には連絡や説明が行き届かない場面もあったかとは思いますが、迅速かつ丁寧にできるだけ早い段階でご安心していただけるよう努めました。 ○面会につきましては、感染症対策の観点から、一定の制限はありますが、柔軟な対応を継続しました。

Ⅳ 苦情等の状況

（1）苦情の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

特徴と対応

ご家族様より利用者様が下腹部痛があり協力医療機関受診し「鼠径ヘルニアと言われバンドを購入したが、他の医療機関の外科を受診したら鼠径ヘルニアではないと言われた」とのご意見をいただき、同時に、利用者様ご自身がずっとバルンの違和感を訴えられているため、泌尿器科専門病院を受診し入院して膀胱瘻を作ってほしいとのご希望がありました。ご家族・ご本人様のご意向を医師のほうへ伝え、ご希望の医療機関への紹介状を作成していただき受診していただきました。受診結果、膀胱瘻の適応はなくバルンカテーテルの抜去も感染症や発熱することもあり入れておいたほうが良いとの説明でした。ご家様は受診結果について理解されていましたが、利用者様は納得しておられないようなご様子が伺えました。様々な訴えの中きちんと耳を傾け、説明・相談を行いながら丁寧な対応に今後も努めてまいります。

（2）事故の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	10	12	14	16	12	9	15	9	17	17	11	5	147

特徴と対応

・2階3階共に皮膚損傷事故が最も多く、次にずり落ち・転倒・転落事故が多くみられました。利用者面・職員面・環境面別に事故内容を分析し、多職種と連携しケアの変更を行いました。
また、同じ利用者による事故や同じような箇所（腕・足）に表皮剥離や内出血斑が多くみられました。移乗時に出来たと思われる内容も多く、個人に合わせた環境設定や移乗方法についての動画を作成し職員へ周知しました。

（3）ヒヤリハットの状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	2	4	6	5	4	6	5	2	9	12	14	16	85

特徴と対応

・事故件数に比べヒヤリハット件数が少なかったです。居室での報告件数が一番多く、転倒・転落リスクの高い方がベッドリモコンを触りベッドの高さを操作していたり、自力でベッドから車椅子に乗り居室から出て来られる内容が多く報告されました。
環境設定を行い、ベッドセンサー等を使用しながら、早期の対応を心がけていますが、予想外の行動をとられる利用者様もおられるため、職員同士連携を図り、早期発見・早期対応に努めました。

Ⅴ 職員の研修への参加状況

（1）外部研修

職 種	日 程	参加人数	研修名・内容等
介護	令和7年度	1 名	介護福祉士実務者研修
	令和7年5月21日	2 名	Livedo実技基礎研修
	令和8年3月	4 名	認知症介護基礎研修
介護支援専門員	令和7年12月9日	1 名	要介護認定調査員 現任研修
看護介護相談員	令和8年1月21日（水）・2月25日（水）	3 名	高齢者施設における救急搬送に係る講習会（WEV開催）
介護	令和7年5月28日（水）法人研修	3 名	緊急時の対応（観察と究明処置）
施設長 介護 事務	令和7年10月8日（水）法人研修	10 名	ハラスメント研修会 ～介護現場で起こりうるハラスメント～
		名	
		名	

（2）内部研修

研修名・内容等	参加職種	日 程	参加人数
身体拘束とはどんなものか①	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員 看護	令和7年4月9日	15 名
高齢者虐待防止について①	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年4月23日	13 名
事故防止について①	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年5月21日	14 名
人権擁護について	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員 看護	令和7年5月21日	14 名
褥瘡予防①	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員 看護	令和7年6月4日	14 名
食中毒について「	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年6月18日	16 名
認知症ケア研修	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員 看護	令和7年7月2日	15 名
接遇について	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員 看護	令和7年7月16日	18 名
やむを得ない身体拘束の場合②	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年8月20日	14 名
高齢者虐待防止について②	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年9月3日	14 名
事故防止について②	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年9月17日	15 名
BCP自然災害 机上学習	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年10月1日	19 名
口腔ケアについ①	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年10月22日	17 名
感染症（コロナ・インフルエンザ）	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員 看護	令和7年11月4日	17 名
感染症（感染性胃腸炎）	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員 看護	令和7年11月19日	13 名
腰痛予防	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年12月3日	17 名
BCP（感染症ノロウイルス想定）	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年12月17日	18 名
要介護者の口腔ケア要点②	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和8年1月7日	18 名
褥瘡について②	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員 看護	令和8年1月21日	20 名
虐待防止（スピーチロックについて）	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和8年2月4日	21 名
BCP（自然災害 地震訓練）	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和8年2月18日	17 名
			名
			名

Ⅵ 主な催し（抜粋）

春の大運動会	施設長 介護 看護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年5月30日（金）	89 名
納涼祭	施設長 介護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年9月3日（水）10月2日（木）	41名・36名
敬老会（祝賀式・喫茶会）	施設長 介護 看護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年9月13日（土）・24日（水）	24名・81名
秋祭り	施設長 介護 看護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和7年11月21日（金）	82 名
ひな祭り クッキング	施設長 介護 看護 機訓 管栄 歯衛 支援専門員 相談員	令和8年3月11日（水）	69 名

Ⅶ 総括

令和7年度は入所・ショートステイどちらも入所率については厳しい月があり、入所は8月の風邪が蔓延した際、入院者・退所者・空床が増え、入所率が低下しました。感染症対応や入退所調整が重なる中で各職種が連携し早期受入れや空床期間の短縮に努めましたが、入退所の動きが非常に大きい一年となりました。ショートステイご利用の皆様も入所と同様、個性豊かな利用者様が増えリスク管理に悩むケースが増え対応や環境面、情報共有・ケアの統一などに柔軟に努めました。また、今年度も介護職員が不足している現状があり各職種が協同でサービス提供を行い、職員一人ひとりお互いを労わりチーム力で行ってきました。行き届いていないところは多くあると思いますが、引き続き眠りスキャンやベッドセンサーなどICTも有効に活用しながら「利用者様の笑顔と安心・安全のある生活」を第一に考え、また「恵風荘に来て良かった」と思っていただけるよう、丁寧に温かくサービス提供に努めてまいります。

特別養護老人ホーム　恵風荘

利用実績表(延べ人数)

		支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入所	男					786	2,429	975	4,190
	女				365	3,105	8,665	10,674	22,809
	計	0	0	0	365	3,891	11,094	11,649	26,999
短期	男			195	407	200	231	70	1,103
	女	2	5	333	151	1,482	951	871	3,795
	計	2	5	528	558	1,682	1,182	941	4,898

年齢別・男女別　構成　（令和8年3月31日現在）

		～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	100歳～
入所	男		1	1	3	2	4	1	
	女	1		2	7	4	9	40	5
	計	1	1	3	10	6	13	41	5
短期	男					1	3		
	女					1	4	5	
	計	0	0	0	0	2	7	5	0

入所	男	平均年齢	81.0　歳	平均入所期間	1496.2　日
	女		90.2　歳		1152.1　日
	計		88.8　歳		1203.7　日
短期	男	平均年齢	86.0　歳	平均入所期間	15.3　日
	女		90.2　歳		8.4　日
	計		89.0　歳		10.4　日

恵風荘　デイサービスセンター

管理者　　安井　由美子

生活相談員　荊尾　和美

Ⅰ　提供するサービス

1．通所介護

2．岡山市総合事業（介護予防通所サービス・生活支援通所サービス）

Ⅱ　基本方針

1．利用者様が住み慣れた地域で過ごし続けられるように心身機能の維持や向上を図ります。

2．地域に開かれた施設として、地域の皆様やボランティア・実習生の受入れを行い、利用者様が生きがいや楽しみを持って、生き生きと過ごせる場を目指します。

3．医療的管理が必要な重度の方や認知症の方等、利用者様の様々なニーズに対応できるよう職員の資質の向上を図ります。

4．職員がやりがいや自信を持って働ける職場を目指します。

Ⅲ　目標への取り組みと評価

	令和7年度　具体的な目標と取り組み	結果及び評価
健全経営	○業務の効率化や環境整備、経費の節減に努めます。	年間平均利用率は目標には達していません。コロナやインフルエンザ等の感染は無かったものの、入院や施設入所などで利用中止となる方が多かったです。また、その後職員数減少により受け入れ態勢の整備が難しく、利用に繋がらない事がありました。ケアマネからの問い合わせも減少し、実際に見学されたものの利用に繋がらないといったケースもありました。今後も継続してデイサービスを知っていただくよう、相談員による営業も行っていきます。
	○実利用者、1日平均35名を目指します。	利用者数や業務に応じた人員配置、業務改善を行い、安心してご利用して頂けるよう配慮を行いました。利用者状況や周りの環境も変化していくため、引き続き見直しを行っていきます。また、物品購入に関しても費用対効果を考えながら無駄のないように努めました。
サービスの向上	○利用者様の課題やニーズを把握し、適切な支援を行う事で、身体機能や生活状況の改善を図ります。また、家族様のニーズにも応えられるように努めます。 ○利用者様のQOL（生活の質）向上や住み慣れた地域での生活が続けられるように、関係機関・多職種と連携して適切な支援を行います。	送迎時に家族様との情報共有、個別機能訓練計画書を作成していく際3ヶ月ごとに自宅の様子を利用者、家族に聞き取りをし課題やニーズを把握し、必要な機能訓練や生活支援を提供できるよう努めました。 また、担当のCMと情報共有を行い、本人様の状態の変化に対して的確に対応し、住み慣れた環境での生活が継続できるよう努めました。
人材育成	○専門職として、知識・技術の向上を図り、より良いサービスの提供に努めます。また、職員が働きやすい環境整備に努めます。	必要な研修を必要な職員が受けられる環境を整えました。ケアマネの試験に合格した職員は、研修に参加できています。 家族やお子さんの体調不良等、急な休みに対しても、職員間のフォロー体制が構築できており、対応に努めました。
	○環境整備や情報共有を図る事で事故の予防に努めます。	職員数の余力はほぼ無いものの、声掛けを密に行い事故防止に努めました。 自身で体調不良等の訴えが難しい方については特に、

業務管理	○利用者様や職員の体調の把握に努め、不調の早期発見や感染症の拡大予防を図ります。 ○感染症や災害発生時の安全確保及び事業継続への取り組みを行います。	当DS利用中の様子を観察し、変わりがあればすぐにバイタルチェックやご家族様へ情報発信を行うよう努めました。 ご利用者様も対象とした避難訓練、職員のみで感染症も含めた状況想定訓練をそれぞれ行い、職員に対し日頃の業務内での意識付けを行いました。
地域貢献	○地域への参加や地域から見やすい運営に努めます。 ○地域に開かれた施設として、実習生やボランティアを積極的に受け入れます。	行事の際にボランティア受け入れを再開しました。 今年も富山文化祭の作品展示し、地域の皆様に当DSを知っていただけるよう努めました。 インターンシップ実習生が本年度研修で来所し、今後の実習生受け入れに繋げ、より良く福祉について学んでいただきたいと考えます。
家族の皆様へ	○利用者様について、家族の皆様やケアマネジャー、関係機関との連携・情報共有を行う事で、適切な支援を行います。	利用者様の体調や認知面で気になることがあれば、家族様や支援関係者へと伝え必要な対応がとれるよう努めました。毎月のお知らせを通して必要な情報提供を行ったり施設内を見学して頂くことで安心してご利用いただけるよう図りました。

Ⅳ 苦情等の状況

（1）苦情の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

特徴と対応

朝の迎えが遅くなるようだったら、連絡が欲しいという苦情をいただきました。遅くなる際は電話させていただくよう説明し、納得していただきました。その他、日々の利用でのご要望をいただくことがありますが、その都度対応ができています。見学の際の対応について、ご指摘をいただくことがあり、対応した職員へ指導しました。

（2）事故の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	5

特徴と対応

剥離1件、転倒2件、送迎中の固定具の締め忘れ1件、送迎中の車椅子からのずり落ち1件となっています。事故が予防できるように利用者様の体調や状態の把握、送迎中の車内の設備確認や安全確認を行いドライバーと協力して安全に努め、アセスメントを取り直し必要なケアの検討と環境整備を行うことで再発防止に努めました。

（3）ヒヤリハットの状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

特徴と対応

送迎中の固定具の締め忘れにより、利用者様が送迎中に車いすごと倒れそうになったことが1件、手引き歩行中に膝折れという事が1件あった。ドライバーと協力して、安全確認や固定具の確認を二重チェックする事、利用者様の状態に合わせた介助方法を速やかに検討実行することで対応していき、事故のリスクを減らすよう今後も努めていきます。

Ⅴ 職員の研修への参加状況

（1）外部研修

職　種	日　程	数	研修名・内容等
全職種	7/17	1　名	カスタマーハラスメント対策研修会～利用者様やご家族とより良い関係を築きながら、安心して働ける環境を維持するために～
	11/19	1　名	皆が主役！コミュニケーション～生まれるレクリエーション・チームワーク研修会
	2/26	1　名	高齢者虐待防止の推進
	3/12	1　名	「ｹｱﾌﾟﾗﾝﾃﾞｰﾀ連携ｼｽﾃﾑ」報告会
		名	
相談員	9/11	2　名	第二回介護職員スキルアップ研修
	12/5	2　名	認知症高齢者の主体的な生活改善支援
	2/10	2　名	介護職員スキルアップ研修
	3/12	1　名	「ｹｱﾌﾟﾗﾝﾃﾞｰﾀ連携ｼｽﾃﾑ」報告会
		名	
		名	

（2）内部研修

研修名・内容等	参加職種	日　程	参加人数
身体拘束廃止・高齢者虐待防止	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	2025/5/12	12　名
認知症および認知症ケアに関する研修	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	2025/7/16	11　名
吐物処理演習	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	2025/12/23	11　名
BCP自然災害訓練	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	2026/2/3	11　名

Ⅵ　主な催し（抜粋）

行事	参加職種	日　程	参加人数
お花見会	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和7年4月4日	27　名
日本舞踊ボランティア	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和7年5月27日	33　名
七夕会	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和7年7月7日	22　名
夏祭り	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和7年8月8日	27　名
敬老会	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和7年9月19日	30　名
運動会	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和7年10月10日	24　名
クリスマス会	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和7年12月25日	22　名
寿ぎの会	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和8年1月5日	21　名
節分会	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和8年2月3日	21　名
ひなまつり	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	令和8年3月3日	32　名
手芸教室	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	毎月	20名程度 名
フラワーアレンジメント	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	10月～5月	10名程度 名
誕生日会	相談員･介護･看護･機能訓練指導員	毎月	全員

Ⅶ　総括

R7年度は、施設入所、入院と中止者が多く、また新規の受け入れ態勢はあるも紹介自体が減る状態でした。施設見学で足を運んでくださる機会はあるものの、実際に見学された後に利用に繋がらないケースも増えつつある印象です。
リハビリ特化型のデイが多くなり、利用者が流れている傾向は依然継続している状況です。当DSとして手芸や習字教室、生花教室を通しての文化活動や、麻雀や将棋、カラオケを通じての他者との交流、入浴、運動と利用者の生活支援は継続して努めて参ります。
特に運動面では、本年度より3F利用を再開し希望者は3Fでの運動を行うようになりました。ただし、職員数や業務の状況によっては中止という安定実行できる環境ではありません。今後は安定して実行できるように努めていきます。今後も地域のボランティアの受け入れも行い、開かれた施設としてSNSを活用し広く活動内容を知っていただきデイサービスが恵風会の窓口としてショート、入所と繋げていけたらと思います。

恵風荘　デイサービスセンター　利用実績

介護度別利用者数（延べ人数）

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働日数	人/日
令和7年4月	5	11	52	218	135	141	8	65	635	25	25.4
令和7年5月	4	11	53	201	133	136	16	49	603	24	25.1
令和7年6月	4	11	51	191	138	123	11	51	580	25	23.2
令和7年7月	5	12	61	222	147	153	29	55	684	26	26.3
令和7年8月	4	12	62	188	113	127	18	43	567	22	25.8
令和7年9月	4	16	58	191	104	167	11	51	602	24	25.1
令和7年10月	5	15	64	211	95	175	14	63	642	26	24.7
令和7年11月	4	15	61	187	100	142	9	63	581	23	25.3
令和7年12月	4	17	66	191	108	138	11	56	591	55	10.7
令和8年1月	4	15	65	178	96	132	10	58	558	23	24.3
令和8年2月	4	15	62	156	111	140	22	53	563	22	25.6
令和8年3月	4	17	70	193	120	120	21	66	611	25	24.4
合計	51	167	725	2,327	1,400	1,694	180	673	7,217	320	22.6

入浴利用者数			個別機能訓練実施者数
	特　浴	介護一般浴	要介護のみ
令和7年4月	298	37	557
令和7年5月	274	28	527
令和7年6月	266	29	506
令和7年7月	316	30	595
令和7年8月	284	23	484
令和7年9月	310	29	515
令和7年10月	346	28	544
令和7年11月	294	31	495
令和7年12月	310	27	496
令和8年1月	272	28	461
令和8年2月	298	28	473
令和8年3月	342	32	544
合計	3,610	350	6,197

恵風荘　在宅介護支援センター

管理者　　山本　宜康

Ⅰ　提供するサービス

1．居宅介護支援

2．介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

Ⅱ　基本方針

1．「住み慣れた地域で暮らし続けられるように」自宅で生活されている方の支援を行います。

2．地域包括支援センターや医療機関、行政、介護サービス事業所等と連携を図りながら支援を行います。

3．制度を正しく理解し、利用者様や家族の皆様に分かりやすい説明を行います。

4．ケアマネジャーとしてのスキルアップを図り、より良い支援の提供を目指します。

5．職員がやりがいや自信を持って働ける職場を目指します。

Ⅲ　目標への取り組みと評価

	令和7年度　具体的な目標と取り組み	結果及び評価
健全経営	○特定事業所加算Ⅱの算定を継続します。	・特定事業所加算Ⅱの算定要件を満たしており、算定の継続ができています。また、各種加算も適切に算定し、適正な運営をおこなっています。
	○公正中立な立場で支援を行います。	・それぞれの利用者様の心身状態や住宅環境等に合せた介護サービスの種類、事業所の紹介をおこない、公正中立な支援をおこなっています。
	○業務の効率化や環境整備、経費の節減に努めます。	・書類の様式や業務手順の見直し、ICTの活用を積極的におこなうことで業務の効率化を図っています。また、物品購入の際も必要性や価格を検討し、経費の有効活用に努めました。
サービスの向上	○介護保険制度の正確な理解やその他の社会制度、社会資源の把握、活用に努めます。	・各種研修への参加、行政や包括支援センター、他法人の居宅事業所と連携を図り、社会制度や社会資源の把握、活用に努めました。また、事業所内でも情報共有して活用しています。
	○利用者様の課題やニーズを把握し、適切な支援が行えるようにケアマネジメントの向上に努めます。	・各ケアマネージャーが、相談支援技術の向上に努めるほか、関係者と情報共有をおこない、適切な支援に繋げられるように努めました。
	○各種研修に参加し、多職種との連携が図りやすいように顔の見える関係作りを目指します。	・行政や職能団体、その他主催の各種研修に参加し、他法人のケアマネージャー、医師やMSW、看護師、薬剤師、PT・OTなど、それぞれの専門職との横のつながり、顔の見える関係を作り、連携強化を目指しました。

人材育成	○各種研修に参加する体制を整え、専門職としての知識や技術の向上を図ります。 ○困難事例に対しては、多角的な視点で協議し、より良い支援が行えるように努めます。 ○職員がやりがいや自信を持って働ける職場を目指します。	・介護保険制度だけでなく、障害制度や虐待、その他の社会保障制度などの研修に参加するとともに、事業所内でも共有することで事業所全体のスキルアップを図りました。 ・困難事例に対して、事業所内での共有やフォロー、行政や地域包括支援センターとも協力しながら支援をおこないました。 ・職員同士が気軽に相談でき、お互いに協力しながら業務に取り組めるように努めました。また、有休取得も推進しています。
業務管理	○苦情やトラブル、緊急時対応等に対して早期に対応します。 ○虐待防止と人権擁護、ハラスメント防止に努めます。 ○BCPの周知を図り、感染症や災害発生時の安全確保及び事業継続への取り組みを行います。	・イレギュラー発生時には、早期に状況の把握を行い、関係各所と協力しながら対応しました。 ・研修に参加することで、それぞれの内容について理解を深めるように努めました。また、必要な時は関係各所と連携を取りながら進めてまいります。 ・BCPに関する研修に参加するとともに、BCPの周知や防災意識の向上を図るように努めました。 ・対象者となっている利用者様の個別避難計画の作成を支援しました。
地域貢献	○地域の交流会へ参加します。 ○地域包括支援センターとの連携、情報交換に努めます。	・行政等や職能団体が主催する多職種意見交換会や交流会に参加し、地域の実情把握や顔の見える関係作りに努めました。 ・日頃から連携取っているほか、地域ケア会議にも参加して情報共有を図っています。
家族の皆様へ	○利用者様、家族の皆様が望む生活ができるように多職種と連携を取りながら支援を行います。 ○制度について分かりやすく説明を行い、困り事や相談に対して解決できるように一緒に考えていきます。	・適切なアセスメントをおこない、利用者様の心身状態や住宅環境、家族の皆様を含めたニーズを把握し、多職種と連携をとりながら、利用者様方が望む生活を送れるよう支援に努めました。 ・介護保険制度を正しく理解し、それを分かりやすく説明できるように努めました。また、介護保険制度以外の理解や活用にも努め、多角的な視点で支援がおこなえるように努めました。

Ⅳ 苦情等の状況

（1）苦情の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

特徴と対応

なし。

（2）事故の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

特徴と対応

なし。

（3）ヒヤリハットの状況

	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	計
件　数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

特徴と対応

なし。

Ⅴ　職員の研修への参加状況

（1）外部研修

職　種	日　程	参加人数	研修名・内容等
介護支援専門員	令和7年6月9日	1　名	ケアマネが知っておきたい感染知識
	令和7年7月17日	1　名	R7年度岡山市居宅介護支援事業者連絡協議会　第1回研修会
	令和7年7月18日	2　名	中区エリア交流会　みっつの会（高島・竜操エリア）
	令和7年7月23日	1　名	ケアマネジメントで行う家族支援
	令和7年8月2日	1　名	独居高齢者への訪問診療と看取り支援
	令和7年9月2日	3　名	第7回ケアマネジャー大会
	令和7年9月17日	1　名	主任ケアマネ研修 「難病支援について」
	令和7年9月18日	1　名	中区エリア交流会　みっつの会（操山・東山エリア）
	令和7年10月16日	1　名	中区エリア交流会　みっつの会（富山・操南エリア）
	令和7年11月1日	1　名	R7年度ケアマネジメントセミナー「こころの病気とその対応」
	令和7年11月5日	1　名	介護支援専門員実務研修見学実習　指導者研修
	令和7年11月19日	2　名	居宅介護支援事業所のためのBCP×感染症対策セミナー
	令和7年11月22日	2　名	ももたろう往診クリニック主催 「災害と在宅医療」
	令和7年11月27日	3　名	岡山市地域別多職種連携会議
	令和7年12月1日	3　名	中区地域精神保健福祉連絡会　地域別研修会 「8050問題」
	令和7年12月9日	1　名	要介護認定調査員　現任研修
	令和7年12月9日	1　名	管理者研修
	令和7年12月11日	2　名	介護予防支援・介護予防マネジメント研修
	令和7年12月18日	2　名	R7年度岡山市居宅介護支援事業者連絡協議会　第2回研修会
	令和8年1月16日	2　名	R7年度岡山市在宅療養強化研修
	令和8年2月4日	3　名	岡山市介護支援専門員協会　自主研修「知っておきたい社会保障制度」
	令和8年2月18日	1　名	他法人との共同事例検討会
	令和8年2月20日	4　名	辞令で学ぶ高齢者虐待防止の実践と解説セミナー

（2）内部研修

研修名・内容等	参加職種	日　程	参加人数
緊急時の対応について	介護支援専門員	令和7年5月28日	3　名
ハラスメント研修	介護支援専門員	令和7年10月8日	3　名
			名
			名
			名

Ⅵ 主な催し（抜粋）

行事・内容等	参加職種	日 程	参加人数
なし			名
			名

Ⅶ 総括

R7年度も職員体制が維持できたことで、新規や紹介の利用者様への支援をおこなう事ができた。ただ、認知症の方や独居の方は増加傾向であるため、関係各所と連携を図りながら支援体制や生活環境を整えていく事が重要となっている。また、地域としては要支援認定を受けられる方も多く、今後も介護に関する需要は増えていくと考えられる。
供給側としては、介護施設や在宅サービスの現場だけでなく、居宅介護支援事業所も同様に人材不足は進んでいるため、事業所における人材定着や人員拡充への施策、及び地域の事業所間での情報共有や連携体制の構築が求められるところである。併せて、ICT等の活用による業務の効率化や働きやすい職場環境の整備をおこなっていく事も必要である。

恵風荘　在宅介護支援センター

ケアマネジメント　件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	12	13	14	14	14	17	17	17	14	16	15	16	179
要支援2	26	26	26	24	25	24	23	23	23	24	25	27	296
要介護1	44	46	41	43	44	42	43	44	44	42	40	38	511
要介護2	32	34	35	36	36	36	34	32	34	30	33	30	402
要介護3	19	19	20	21	25	22	23	24	23	21	20	20	257
要介護4	11	13	13	16	18	14	16	15	18	16	16	15	181
要介護5	8	8	7	9	8	6	6	7	7	7	7	7	87
合　計	152	159	156	163	170	161	162	162	163	156	156	153	1,913

介護老人保健施設　恵風苑

施設長　　織田　道広

顧問　　岩川　千津恵

Ⅰ　提供するサービス

1．介護老人保健施設
2．短期入所療養介護
3．介護予防短期入所療養介護

Ⅱ　基本方針

1．安心して安らげる施設であることを目指します。
2．共に学び向上できる施設であることを目指します。
3．他施設・他職種との連携を大切にする施設であることを目指します。
4．地域福祉の拠点となり誇りの持てる施設であることを目指します。
5．職員が自信を持って生き生きと働ける施設であることを目指します。

Ⅲ　目標への取り組みと評価

	令和7年度　具体的な目標と取り組み	結果及び評価
健全経営	○入所率90%以上を目指します	・年間入所率82%。年間通じショートステイが昨年度の半数と
		なっている。以前よりも各病院がショートステイ利用者の
	○在宅復帰・在宅療養費支援機能加算（Ⅱ）の算定を維持します	レスパイト受け入れを行っている状況が目立っている。
		引き続き90%を目指して新規利用者の獲得に取り組みます。
		・在宅復帰・在宅療養費支援機能加算（Ⅱ）を年間通じ
		算定維持を行いました。
		適正な算定が行えるように努めていきます。
サービスの向上	○施設ｻｰﾋﾞｽ計画に基づいて身体機能向上、さらに生活の質	排泄ケアの取り組み強化を行った。R8年度は排泄ケア
	の向上に努めます。	委員会の立ち上げを行い、ご利用者が快適に生活が
		出来るようにケアの質向上に努めていきます。
	○利用者様の体調管理を行い施設生活を安心して過ごして頂く	
	ように努めます	職員間の連携を密にし異常の早期発見・治癒を目標
		にケアを行っている。緊急搬送は減少しているが
		入院者の減少には至っていない。今後も体調管理に
		努めていきます。
人材育成	○リーダーの役割を担う人材を育成すると共に職員の資質向上	管理者研修の実施を新たに行った。今後も研修を継続
	を目指し利用者に良質なｻｰﾋﾞｽ提供が行えるように努めます。	し人材育成に努めていきます。
	○新卒採用・中途採用に関わらず離職者を出さないように面談	R7年度の退職者（介護）は9名。内4名が技能実習生と
	機会を設け働き易く風通しの良い職場作りを目指します。	なっている。職員の3割が外国人人材となっている事から
		外国人材も働きやすい環境作りに努めていきます。

業務管理	○職員が安心して働ける職場環境を目指します。	生産性向上推進委員会を通じて、現場内での問題解決
		に努めた。今後はICT機器を活用し、業務効率化とケアの
		質向上に努めていきます。
		働く職員の状況に応じて業務内容や職場環境を
		柔軟に見直しを行っている。
地域貢献	○地域貢献活動や地域交流の場、地域行事への参加を	・今在家町内会へ介護予防教室を行い毎年多くの
	行います。	地域住民が参加し感謝の言葉を頂いています。
		毎月今在家天満宮の清掃活動に参加し交流を図る
		と共に年2回行われる町内会全体の清掃活動に
		参加し地域貢献に努めた。
	○緊急災害時に拠点となる施設を目指します。	・福祉避難所の役割を果たすべく備蓄品の確保や
		受け入れ体制の整備を行っている。
家族の皆様へ	○家族の皆様が安心して利用して頂けるような施設環境や	・面会制限を緩和し家族の皆様が安心して
	情報発信を目指します。	頂けるように努めた。誕生日月には記念写真を送付
		しており喜びの声を頂いている。
	○家族の皆様と生活が出来るように在宅復帰や復帰後のｻｰﾋﾞｽ	・退所後の状況の確認を行い在宅復帰後の身体状況
	確認、提供が行えるように努めます。	を把握し状況に応じて再入所を促した。
		在宅生活が継続できるように在宅サービスの提案
		に努めている。

Ⅳ 苦情等の状況

（1）苦情の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数				1									1

特徴と対応

体調不良によって入院となりその後、数日後病院で亡くなった主介護者から入院する3日前より本人が腹痛を訴えていたにもかかわらず何も対応していないと訴えられる。入院の経緯や数日前に病院受診を行っている事を説明するも納得が得られず威圧的な言動がみられた為に質問に対して書面での対応を行う。契約時に改めてリスク説明を行うと共にご家族にこまめには体調変化時には経過をこまめに説明するように努めた。

（2）事故の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	29	25	25	35	16	20	21	42	17	18	19	31	298

特徴と対応

前年度の事故数（358件）と比較し、令和7年度は298件と事故数は減少した。事故数の内訳としては転倒・転落が半数近くを占めており、大半が居室で発生している。未然防止を行う為に、居室内の環境整備について取り組みを行った。又、再発を防止する為に、カンファレンスにて事故要因を追及し、具体的対策を講じた。誤薬事故が10件と例年に比べて多かった。主な要因としてはマニュアルの周知が不足していた事が挙げられる。対策として研修会を行い職員に対して周知を行った。

（3）ヒヤリハットの状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	36	20	32	34	28	33	28	28	29	26	32	21	347

特徴と対応

前年度と比較してヒヤリハットの報告は多く挙がっている。事故を未然に防ぐ為に、引き続き気付きの能力向上に努めていく。又、報告があったヒヤリハットをしっかりと分析し、対策に繋がるように努めていく。

Ⅴ 職員の研修への参加状況

（1）外部研修

職 種	日 程	参加人数	研修名・内容等
介護士	令和7年5月29日	1 名	生産性向上スタートアップセミナー
	令和7年11月18日	1 名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修
	令和7年12月4日	1 名	介護職種の技能実習指導員講習
看護師	令和7年8月23日	1 名	感染対症対策リーダー育成フォローアップ研修
	令和7年9月5日	1 名	中堅職員重点テーマ強化研修
	令和7年11月14日	1 名	高齢者施設における感染対策
リハビリ	令和7年7月17日	1 名	第1回痛みセンター多職種連携研修会
	令和7年12月18日	1 名	第5回痛みセンター多職種連携研修会
管理栄養士	令和7年10月21日	1 名	岡山県老人保健施設協会 栄養士部会
支援相談員	令和7年1月～3月	1 名	介護支援専門員更新（未経験）研修

（2）施設内研修

研修名	参加職種	日 程	参加人数
緊急時の対応について	看護、介護、相談員、リハビリ	令和7年5月28日	13 名
食中毒について	看護、介護、相談員、リハビリ、医師、栄養士	令和7年6月25日	21 名
防災BCP委員会	看護、介護、相談員、リハビリ、栄養士	令和7年6月26日	15 名
身体拘束廃止/褥瘡予防/虐待防止/リスクマネジメント	看護、介護、相談員、リハビリ	令和7年8月20日	11 名
身体拘束廃止/褥瘡予防/虐待防止/リスクマネジメント	看護、介護、相談員、リハビリ	令和8年3月11日	24 名
認知症の理解と対応	看護、介護、相談員、リハビリ	令和7年3月28日	7 名
人権擁護～ハラスメント対策について～	看護、介護、相談員、リハビリ	令和7年10月8日	24 名
感染対策について	看護、介護、相談員、リハビリ、医師、栄養士	令和7年11月12日	14 名

Ⅵ 主な催し（抜粋）

行事・内容等	参加職種	日 程	参加人数
花見会	介護、看護、相談員、ケアマネジャー、リハビリ、栄養士、歯科衛生士	4/2，3、9、10	24 名
夏祭り	介護、看護、相談員、ケアマネジャー、リハビリ、栄養士、歯科衛生士	7/30	153 名
敬老会	介護、看護、相談員、ケアマネジャー、リハビリ、栄養士、歯科衛生士	9/10	146 名
新年会	介護、看護、相談員、ケアマネジャー、リハビリ、栄養士、歯科衛生士	1/21	147 名
			名

Ⅶ 総括

年間目標を達成・維持するためチーム力で取り組みが出来るようになった。更なる目標としてあらゆる課題（サービス向上・人材育成・業務管理等）の対策・改善に向けてよりチーム力を高めたチームとして課題の対策・改善・生産性の成果が出せる組織となるように努力します。

介護老人保健施設　恵風苑　入退所状況

	1日現在 入所者数	月 間 退所者数	月 間 入所者数	月 間 入院者数	
令和7年4月	156 名	45 名	31 名	23 名	
令和7年5月	146 名	31 名	31 名	17 名	
令和7年6月	145 名	26 名	37 名	15 名	
令和7年7月	153 名	35 名	26 名	20 名	
令和7年8月	149 名	25 名	29 名	12 名	
令和7年9月	151 名	30 名	26 名	14 名	
令和7年10月	146 名	29 名	26 名	11 名	
令和7年11月	144 名	30 名	19 名	13 名	
令和7年12月	134 名	16 名	30 名	12 名	
令和8年1月	148 名	25 名	29 名	12 名	
令和8年2月	152 名	20 名	23 名	11 名	
令和8年3月	154 名	32 名	30 名	9 名	
平均	148 名	28 名	28 名	169 名	

年齢別・男女別　構成 （令和8年3月31日 現在）

	～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90歳～	
男	1	名	1	名	3	名	3	名	7	名	7	名	12	名
女	0	名	1	名	1	名	7	名	18	名	33	名	61	名
計	1	名	2	名	4	名	10	名	25	名	40	名	73	名

男	平均年齢	85.4 歳	平均 入所期間	9.8 ヶ月	平均 入所期間	294.1 日
女		89.4 歳		10.0 ヶ月		300.3 日
計		88.4 歳		10.0 ヶ月		299.0 日

恵風苑　通所リハビリテーション

施設長　　織田　道広

管理相談員　奥玉　麻子

Ⅰ　提供するサービス

1．通所リハビリテーション

2．介護予防　通所リハビリテーション

Ⅱ　基本方針

1．利用者様が意欲と生きがいをもって、在宅生活ができるよう、生活機能の維持・向上を目指します。

2．利用者様、家族の皆様の身体的及び精神的負担の軽減を図れるよう、サービスの提供に努めます。

3．地域の福祉拠点として、安らげる場所を目指します。

4．職員が自信を持って、いきいきと働ける場所を目指します。

Ⅲ　目標への取り組みと評価

	令和7年度　具体的な目標と取り組み	結果及び評価
健全経営	○月間平均稼働30名以上の利用を目指します。	○年間の平均稼働率は23.7名で目標達成には至りませんでした。新規利用者様は毎月一定数獲得できましたが、それ以上に長期入院や入所される人数が多く、利用率が伸び悩む原因となりました。利用者様やご家族のニーズに沿ったサービスを提供できるように必要な支援を行ないました。
	○環境整備と経費の削減に努めます。	○整理整頓を基本とし、施設内の環境整備には常に気を配り、不便なくご利用いただけるように心がけました。
	○業務内容の見直しと効率化を図ります。	○適切な人員配置を行ない、利用者様に必要な支援を提供しました。業務分担や作業内容を変更し、負担の偏りの解消に努めました。
サービスの向上	○利用者様とご家族の意向やニーズを把握し、最善のサービス提供を行います。	○サービス利用中だけでなく送迎時にご家族様とも対面し、その時々の希望の把握に努めました。適切な支援が行なえるように全職種間で意見交換しています。
	○身体機能や家庭環境を正確に把握し、より良い在宅生活が送れるように適切な支援を行います。	○定期的に評価を行ない、在宅生活での目標や目的を明確にしたリハビリを提供するように努めました。個別リハビリだけでなく、自主トレや各種体操への参加を促し、運動習慣をつけられるように支援しました。
	○他事業所との連携を図り、チームケアに努めます。	○利用者様の状態を正確に把握し、必要機関と情報共有を行なうことで適切な支援を継続します。
人材育成	○専門職として更なる知識、技術の向上に努め、自己修練に努めます。	○職種の垣根を越えて技術指導や意見交換を行なう時間を設け、新たな知見を得られるような環境を作っています。
	○資格取得やその為の研修参加を促進します。	○必要な研修に参加して知識の研鑽に努めました。外部研修への参加は十分ではないため、参加しやすい環境整備が課題となっています。
	○働きやすい職場環境を整備します。	○職員同士が尊重し合い、意見や相談がしやすい環境作りに取り組んでいます。

業務管理	○環境整備や未然防止策を立て、事故の予防に努めます。 ○利用者や職員の体調を把握し、感染予防・防止拡大に努めます。 ○苦情等に対して迅速且つ真摯に対応します。	○施設内の安全な導線を確保することで、動きやすい環境を整えました。事故やヒヤリハットが発生した際には原因を追究し、再発防止策の検討を重ねています。 ○利用者様の来苑時には体調確認と標準予防策に取り組んでいます。必要に応じて服薬確認や受診結果の確認を行い、不調の早期発見に努めています。 ○ご意見を頂いた際には事実確認を早急に行ない、問題解決に向けて迅速に対応し、信頼回復に努めました。
地域貢献	○地域の皆様方との交流の場へ参加します。 ○学生の看護・介護実習や職場体験実習を積極的に受け入れます。	○地域貢献の場には参加できておりません。今後、地域の施設としての役割が担えるように努めてまいります。 ○近隣中学校からの体験学習と介護・看護学生の実習は継続して受け入れています。通所リハビリの役割を理解する場を提供することができました。
家族の皆様へ	○家族の皆様が安心して頂けるように丁寧なケアと信頼関係の構築に努めます。 ○在宅生活におけるお困りごと等の相談に応じ、在宅生活維持ができるよう支援します。	○ご希望に応じて利用中に見学していただくなど、来苑時のご様子を知っていただける機会を設け、不安解消に努めています。 ○様々なニーズに応えられるようにケアマネジャーや当事業所職員間で相談しながらリハビリや介護を提供させていただいています。

Ⅳ 苦情等の状況

（1）苦情の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2

特徴と対応

同一の利用者様のご家族より、持参物(鞄・歯ブラシ)が汚れているとのご指摘がありました。どちらも職員の確認不足と丁寧な対応が出来ていなかったことが原因のため謝罪しています。大切な物をお預かりしているという意識を持つことを再度徹底しています。

（2）事故の状況＞

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	0	2	3	3	0	1	3	2	3	2	1	1	21

特徴と対応

トイレや廊下歩行中などお一人でいる時に転倒するケースが4件ありました。身体機能レベルとしては付き添い不要と判断していましたが、いかなる時でも転倒リスクはあることを念頭に入れて対応すべき案件でした。送迎車内での事故が5件あり、内訳として乗車時に身体をぶつけることが3件、車椅子固定のワイヤーがかかっていないことが2件です。どれも職員の確認不足が招いたことであり、特にワイヤーのかけ忘れは重大事故に繋がりかねない案件だったため、同乗職員・運転手間で安全マニュアル遂行を徹底しています。
幸いなことに全ての案件において大事には至りませんでした。

（3）ヒヤリハットの状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	0	0	0	0	0	0	5	5	3	2	2	0	17

特徴と対応

介助中やリハビリ中に体勢が不安定になり転倒リスクが高まった案件が多く見られました。特に新規利用者様に対しては十分な動作評価が行なえていない中での事案だったため、職員間での情報共有や技術指導の場を設け、危機管理に対する意識向上を図りました。
職員の観察不足により、利用者間での事案(お茶を組み合っている際にトロミが必要な方に普通のお茶を提供しようとした、自走可能な方の車椅子操作に手を貸そうとしたなど)がありました。利用者様の自主性や協調性を尊重する必要はありますが、事故に繋がり兼ねない案件が増えているため、常に職員の目が届くように環境設定の再構築を行ないました。

Ⅴ 職員の研修への参加状況

（1）外部研修

職種	日程	参加人数	研修名・内容等
介護士	令和7年12月5日	3 名	認知症高齢者の主体的な生活改善支援研修
リハビリ職員	なし	名	
看護職員	なし	名	

（2）内部研修

研修名・内容等	参加職種	日程	参加人数
緊急時の対応	リハビリ	令和7年5月28日	1 名
食中毒予防について	リハビリ	令和7年6月25日	1 名
身体拘束廃止・虐待予防	リハビリ	令和7年8月18日	1 名
ハラスメント研修会	リハビリ	令和7年10月8日	1 名
			名
			名

Ⅵ 主な催し（抜粋）

行事・内容等	参加職種	日程	参加人数
敬老会	介護・看護・リハビリ	令和7年9月8日～13日	70 名
年忘れビンゴ大会	介護・看護・リハビリ	令和7年12月29日	22 名
フラワーアレンジメント	介護・看護・リハビリ	毎月1回	105 名

Ⅶ 総括

令和7年度は体調不良によるキャンセル数の増加や長期入院・入所により稼働率が低迷する1年となりました。新規のお問い合わせは毎月頂いており、その際に見学を希望される件数が増えています。見学時に当苑の強みと課題点を誠実に伝えることで利用に対する不安感が軽減したとのお言葉を頂いており、実際に見学した方の多数がご利用して頂ける結果となりました。
しかし、マンパワー不足により入浴や短時間利用の受け入れが困難なことが増え、ご希望に沿えないことが多々ありました。業務内容や人員配置の見直しを行ないましたが十分な結果には至らなかったため、引き続き課題として取り組んでまいります。
今後も身体機能の維持や回復はもちろんですが、他者との交流機会の場やご家族の介護負担軽減のための役割も果たせるように努めてまいります。

恵風苑　通所リハビリテーション　利用状況

	延べ人数	実施日数	1日平均利用者数	
令和7年4月	641 名	26 日	24.7 名	
令和7年5月	649 名	24 日	27.0 名	
令和7年6月	646 名	25 日	25.8 名	
令和7年7月	657 名	27 日	24.3 名	
令和7年8月	528 名	23 日	23.0 名	
令和7年9月	577 名	26 日	22.2 名	
令和7年10月	609 名	27 日	22.6 名	
令和7年11月	558 名	25 日	22.3 名	
令和7年12月	566 名	25 日	22.6 名	
令和8年1月	562 名	24 日	23.4 名	
令和8年2月	551 名	24 日	23.0 名	
令和8年3月	629 名	26 日	24.2 名	
計	7,173 名	302 日	23.75 名	

男女別・介護度別実績表

	非該当		支援1		支援2		介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		その他		合計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
男	0	0	2	41	3	208	8	351	13	1,103	5	333	6	342	9	411	0	0	46	2,789
女	0	0	4	94	9	571	16	921	25	1,737	13	819	7	205	1	37	0	0	75	4,384
計	0	0	6	135	12	779	24	1,272	38	2,840	18	1,152	13	547	10	448	0	0	121	7,173

恵風苑　訪問リハビリテーション

施設長　　織田　道広
サービス
提供責任者　津川　英之

Ⅰ　提供するサービス

1．訪問リハビリテーション
2．介護予防訪問リハビリテーション

Ⅱ　基本方針

1．住み慣れた居宅において、安全且つ安心のできる生活を可能な限り続けることができるよう
　自立支援の観点から利用者様、家族の皆様に必要な援助や支援などを行います。
2．利用者の要介護状態の軽減もしくは、悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するよう
　療養上の目標を設定し、計画的に行います。
3．他事業所や医療機関など、他職種との連携を図りながらチームケアを実践していきます。

Ⅲ　目標への取り組みと評価

	令和7年度　具体的な目標と取り組み	結果及び評価
健全経営	○利用者様の新規獲得に努め、収入安定を図り、黒字経営を目指す。 ○経費等の無駄を省く。 ○効率化や生産性の向上に努める。	・新規は1件。 ・郵送、FAX、資料作成等、事務的業務の効率化を行うことが出来た。 人員の問題により業務量増加 人件費は増加傾向。 ・上記の通り、作業の効率化を実施済。 作業の改善に努めているが業務増加と 作業の属人化の改善が今後の目標
サービスの向上	○専門職としての技術、ケアの質の向上に努める ○他の事業所、医療機関などと連携を図り、情報共有が行えるように努める	・十分に研修参加は出来なかった。 業務時間外での個人の自己研鑽に頼る形での向上にほとんど頼る形となったため、改善が必要と考える。 ・法人外事業所とは積極的に情報交換を行えた。 ・医療機関とも新規での顔つなぎを実施出来た。
人材育成	○多様化するニーズやハラスメントに適切な対応が行える人材育成や教育を実施する。 ○研修会への積極的な参加。	・積極的に訪問リハ部門が主導の人材育成は行うことが出来なかった。 ・業務中の研修参加はあまり多く出来なかった。 業務外の個人努力に頼る状況。 ・業務増により業務ミスの増加や、確認作業による時間と労力を要した。今後は、環境整備などを急ぎたい。

	○働きやすい職場に環境を整備する。	
業務管理	○異常の早期発見、早期対応が行えるよう努める。 ○他事業所、医療機関と密に連携を行う。	・業務量増加により見逃してしまう事も多かった。問題の対策も後手に回ってあまり良い状態とは言えない。 訪問時の体調変化はスムーズに連絡を行うことが出来ている。 ・上記「サービスの向上」で記述した通り。
地域貢献	○周辺地域への支援者に対して必要なケアを行い、地域貢献を行う。	・必要な範囲内での訪問業務となった。今後人員増加が出来れば業務拡大させより地域貢献させたい。
家族の皆様へ	○利用者様や家族の皆様が安心して在宅生活を送っていただけるよう、自立支援の考え方を基に必要な援助や支援を行う。 ○日々のサービス記録をわかりやすく記入する。	・訪問リハビリテーションだけではなく、他事業所と一緒にケアチームとして、本年度は支援に取り組むことが出来た。 ・今のところ、サービスの説明で苦情は出ていない。今後、他職員が問題無く説明等の対応が出来るよう研修（訪問リハの基本等）を実施する必要あり。

Ⅳ 苦情等の状況

（1）苦情の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

特徴と対応

・特に無し。

（2）事故の状況＞

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

特徴と対応

・特になし。

（3）ヒヤリハットの状況

	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月	1　月	2　月	3　月	計
件　数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

特徴と対応

・特になし。

Ⅴ　職員の研修への参加状況

（1）外部研修

職種	日程	参加人数	研修名・内容等
リハビリ職員	2025/11/22	1　名	災害と在宅医療
		名	
		名	
		名	
		名	
		名	
		名	
		名	
		名	
		名	
		名	
		名	

（2）内部研修

研修名・内容等	参加職種	日程	参加人数
＜参照＞研修委員会の参加記録			名
			名
			名
			名
			名
			名
			名

Ⅵ　主な催し（抜粋）

行事・内容等	参加職種	日程	参加人数
・特になし			名
			名

Ⅶ　総括

・令和7年度後半からは退職等により、特に作業に余裕がなくミスを繰り返し、非効率的な業務となってしまった。
・提供サービスについては、質の維持が行えたのではないかと考えるが、もっと研修などに参加してサービスの向上が
出来たのではとも考える。

・業務は増えたが人が足りない。担う人材も育成できていない。
・再来年度には診療未実施減算の猶予期間終了に伴い、今以上に新規利用者獲得は困難な状況になる。
また、条件を満たさないため既存顧客も利用終了となる事が想定されるため、準備をしておく必要があると考えるが、
特に効果的な対策は現在のところ持っていない。

恵風苑　訪問リハビリテーション　利用状況

	延べ人数	実施日数	1日平均利用者数	
令和7年4月	2 名	13 日	0.6 名	
令和7年5月	3 名	15 日	0.8 名	
令和7年6月	3 名	17 日	0.8 名	
令和7年7月	3 名	14 日	0.7 名	
令和7年8月	3 名	13 日	0.6 名	
令和7年9月	3 名	15 日	0.7 名	
令和7年10月	4 名	18 日	0.9 名	
令和7年11月	4 名	15 日	0.7 名	
令和7年12月	3 名	17 日	0.8 名	
令和8年1月	3 名	16 日	0.7 名	
令和8年2月	3 名	15 日	0.8 名	
令和8年3月	3 名	15 日	0.7 名	
計	37 名	183 日	0.20 名	

男女別・介護度別実績表

	非該当		支援1		支援2		介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		その他		合計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	1	71	1	0	0	96	2
女	0	0	0	0	0	0	22	1	0	0	0	0	0	0	178	2	0	0	200	3
計	0	0	0	0	0	0	22	1	0	0	0	0	25	1	249	3	0	0	296	5

ケアハウス　恵園

施設長　　大森　典子

生活相談員　八本　あゆみ

Ⅰ　提供するサービス

１．軽費老人ホーム

Ⅱ　基本方針

１．利用者様が第二の我が家と思っていただけるよう、温かみのある住み心地の良い環境作りと利用者様の基本的人権を尊重した対応を行います。

２．日々の生活において不安感がなく、快適に過ごしていただけるよう努めていきます。

３．利用者様の声を大切にし、いつまでも自立した生活が送れるよう支援していきます。

４．利用者様本位の立場から自己選択、自己決定を最大限尊重していきます。

Ⅲ　目標への取り組みと評価

	令和7年度　具体的な目標と取り組み	結果及び評価
健全経営	○安定した入居率を目指します。 ○経費等の無駄を省きます。	・2月辺りから入院者が急に増え退院が出来ない状況の方が多くなり急な新規獲得が困難でした。 ・入居率100%が継続できなかった。 ・他国籍の方との困難事例が発生しコミュニケーションの難しさを痛感させられました。 ・必要時には稟議書をあげて決済を頂いてから購入をするようにしています。
サービスの向上	○信頼関係を構築し相談しやすい環境を作ります。 ○家族の皆様及びケアマネジャーの皆様と連携を図り信頼される施設運営を行います。	・丁寧な対応を心がけて話しやすい環境作りに努めました。 明るく、温かい対応に配慮しました。 ・ご家族の方からの相談にもきちんとした対応を行い信頼関係を構築するよう努めました。 ・今後も信頼される施設を目指します。
人材育成	○それぞれの職種に応じて必要な人材に育てます。 ○研修等に参加することでスキルアップを図ります。	・職員数の少ない部署だからこその連携を大切にして協力しながら運営していけるよう職員教育を行っていきます。 ・施設内研修を中心にしながら必要な外部研修にも参加できるよう調整を行います。 ・キャリアパスの時期に個人目標をあげて取り組んでいます。
危機	○入居者様の健康状態の把握や異常の早期発見・早期対応に努めます。	・入居者様の異変に気付けるように日々の様子を観察し定期的に身体測定も実施しています。 ・入居者様の高齢化が進み百歳を超える方もおられるので訪問看護事業所とも連携を図りながら体調管理や感染予防等に努めていきます。 ・野生の動物の出現や自然災害への注意も必要な状

管理	○リスク管理を行い、安全安心な施設作りに努めます。	況で施設の安全にも注意を払いながら管理していきます。
地域貢献	○地域に根差した施設を目指します。 ○開かれた施設を目指し地域交流に努めます。	・災害時など地域の方々に安心を与えられる施設として努めていきます。 ・町内会との直接的なかかわりは途切れている状況ですが今後について検討が必要かと思われます。
家族の皆様へ	○生活する上での”困りごと”等は入居者様と一緒に考えながら対応していきます。 ○安心して生活していただけるよう支援します。	・各個人の不安事や悩み等に寄り添い解決に向けて対応しています。 ・ご家族の方からの要望等について出来る事出来ない事を説明しながら行っています。 ・自立して生活を継続できるようサービスを使いながら支援しています。住み替えが必要となった時にはご家族の方に相談をさせていただきます。

Ⅳ 苦情等の状況

（1）苦情の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	1	1	1	2	3	3	2		1		2		16

特徴と対応

生活の中での『騒音トラブル』『金銭トラブル』 等あり、その都度職員が注意及び指導を行った。 金銭トラブルについては家族にも連絡しお金を持参してもらって相手に支払った。【音】については、特定の方なので以前から何度も話をして注意を行ってきたが、なかなか改善が見られなかった。 2月の1件もドアの音についての苦情で何回目かの話し合いと注意を行った。これ以上、苦情が増えると迷惑行為とみなし退所案件にもなりかねない事を説明したところ、その後、苦情は聞かれていない。

（2）事故の状況＞

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数			1							1		2	4

特徴と対応

6月：骨折・入院　ﾍﾞｯﾄﾞからずり落ち　右転子部骨折　救急搬送で竜操病院入院　置換手術実施　退院後帰園
1月：溺死　大浴場で湯の中で横になっているのを宿直者が発見　救急車で川崎病院搬送したが溺死と判明　事故死
3月：誤薬　2人の薬を取り換えて配薬してしまい、二人とも内服してしまう。一人は自分の薬ではないと気付いていたが口に入れたとの事　薬袋の名前が違うと分かった時点で職員に伝えるよう指導する。

（3）ヒヤリハットの状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数													

特徴と対応

自室内の様子は確認できないが、 自室内での転倒事故は発生している状況。 日頃から転倒注意の声掛け、意識付けなどを行っている。

Ⅴ 職員の研修への参加状況

（1）外部研修

職 種	日 程	参加人数	研修名・内容等
生活相談員	令和7年 12月9日	1 名	軽費老人ホーム・ケアハウス事例発表会・意見交換会
生活相談員	令和8年 1月14日	1 名	チームで取り組む認知症警護実践研修会
		名	

（2）内部研修

研修名・内容等	参加職種	日 程	参加人数
高齢者虐待防止及び身体拘束	施設長・生活相談員・介護職員	令和 7年 4月	3 名
熱中症対策	施設長・生活相談員・介護職員	5月	3 名
食中毒	施設長・生活相談員・介護職員	6月	3 名
口腔ケア 感染症	施設長・生活相談員・介護職員	7月	3 名
カスタマーハラスメント	施設長・生活相談員・介護職員	8月	3 名
認知症 緊急時の対応	施設長・生活相談員・介護職員・事務職員	9月	4 名
プライバシー保護 法令遵守 倫理	施設長・生活相談員・介護職員・事務職員	10月	4 名
接遇	施設長・生活相談員・介護職員・事務職員	11月	4 名
肝炎対策のガイドライン	施設長・生活相談員・介護職員・事務職員	12月	4 名
ハラスメントとは	施設長・生活相談員・介護職員・事務職員	令和 8年 1月	4 名
BCP訓練	施設長・生活相談員・介護職員・事務職員	2月	4 名
	施設長・生活相談員・介護職員・事務職員		名

Ⅵ 主な催し（抜粋）

催し名・内容等	参加職種	日 程	参加人数
Soft Creaだ！！	施設長・生活相談員・介護員・ヘルパー職員	令和7年 7月 24日	35 名
納涼花火大会	施設長・生活相談員・介護員・ヘルパー職員	令和7年 9月 4日	40 名
敬老会	施設長・生活相談員・介護員・ヘルパー職員	令和7年 9月 17日	34 名
おやつピザ	施設長・生活相談員・介護員・ヘルパー職員	令和7年 10月 16日	37 名
クリスマス会	施設長・生活相談員・介護員・ヘルパー職員	令和7年 12月 24日	35 名
年末くじ引き	施設長・生活相談員・介護員	令和7年 12月 26日	29 名
入江様 百寿の祝いの会 長女来園	施設長・生活相談員・介護員・ヘルパー職員	令和8年 2月 28日	20 名

Ⅶ 総括

今年度は昨年に比べて入院者が多くなりました。（転倒骨折、脳梗塞、脳出血、癌、コロナ、食欲不振等） 入院したのちに認知症の進行や精神的な不安症からケアハウスへの退院が困難な方が増えて、思いがけず空床になってしまう事もありました。また、大浴場でまさかの溺死があり若くてお元気だと思われていた方のご不幸が起こりました。入居者様の平均年齢も昨年より2歳近くも高くなっています。いくら自立されている方とはいえ、百歳を超えている方もおられる事を考えますと、いつ何が起こっても…という状況です。日々の体調管理に努める事はもちろんの事、お一人お一人の様子観察を行いながら異変に気付く事、それに対しての早めの対応の必要性を痛感した年になりました。
毎年間を通して満床を継続してきましたが2月～3月にかけて空室が初めて出来てしまいました。FAX営業も行いながら新規入居者獲得に努めていきます。

ケアハウス　恵園　入退所状況

入退所状況

	1日現在 入所者数	月　間 退所者数	月　間 入所者数	月　間 入院者数	備考
令和7年4月	30　名	0　名	0　名	1　名	
令和7年5月	30　名	0　名	0　名	0　名	
令和7年6月	30　名	0　名	0　名	2　名	
令和7年7月	30　名	0　名	0　名	3　名	
令和7年8月	30　名	1　名	1　名	6　名	
令和7年9月	30　名	1　名	1　名	3　名	
令和7年10月	30　名	2　名	2　名	2　名	
令和7年11月	30　名	2　名	1　名	2　名	
令和7年12月	30　名	1　名	1　名	2　名	
令和8年1月	30　名	0　名	1　名	2　名	
令和8年2月	29.8　名	3　名	2　名	2　名	
令和8年3月	29　名	2　名	1　名	4　名	
計	358.8　名	12　名	10　名	29　名	

男女別・年齢別　構成比

令和8年3月31日

	男性	女性	計	備考
100～	名	2　名	2　名	
95～99	名	名	名	
90～94	2　名	9　名	11　名	
85～89	1　名	7　名	8　名	
80～84	1　名	4　名	5　名	
75～79	名	1　名	1　名	
70～74	1　名	1　名	2　名	
65～69	名	名	名	
～64	名	名	名	
計	5　名	24　名	29　名	
平均年齢	84.80　歳	88.00　歳	87.40　歳	

利用者　介護度

令和8年3月31日

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
13	6	1	0	0
要支援1	要支援2	事業対象者	自立	合計
1	4	0	4	29
	平均介護度	1.453		

恵風会　ホームヘルパーステーション

管理者	大森　典子
サービス提供責任者	大取　洋子 田中　玲子

Ⅰ　提供するサービス

1．訪問介護サービス

2．介護予防・生活支援訪問サービス（総合事業）

3．自費 訪問介護サービス

Ⅱ　基本方針

1．住み慣れた居宅において、安全且つ安心のできる生活を可能な限り続けることができるよう自立支援の観点から利用者様、家族の皆様に必要な援助や支援などを行います。

2．日々の生活の中で必要なケアを行い、快適な生活を過ごしていただけるように支援していきます。

3．他施設や医療機関など、他職種との連携を図りながらチームケアを実践していきます。

Ⅲ　目標への取り組みと評価

	令和7年度　具体的な目標と取り組み	結果及び評価
健全経営	○新規利用者様の獲得に努め、黒字への転換を図ります。 ○無駄な経費を省きます。 ○効率化の向上に努めます。	・新規利用者の獲得はあるものの安定収入までは繋がりませんでした。 これからも、新規獲得に努力していきます。 ・必要な物品の注文にも無駄を省くようチェックを行いながら注文していきます。 ・職員5人で協力しながら効率アップに努めていきます。
サービスの向上	○専門職として技術の向上に努めます。 ○他事業所と連携を図り情報共有に努めます。 ○チームケアで支援します。	・ヘルパーとしての技術の向上を目指して取り組んでいきます。 ・ご家族の方との信頼関係も構築できるよう必要な報告等丁寧に行っています。 ・一人対応がっ困難な方には二人対応するなどチームワークで対応しています。 ・他事業所との連絡等、連携を図っており協力しながら出来ています。 ・情報共有を行いながら安全・安心な支援ができるよう心掛けています。
人材育成	○多様化するニーズやハラスメントに適切な対応が行えるよう育成します。 ○虐待防止等について学び正しい対応ができるよう育成します。	・様々な要望に応えれる職員を目指してスキルアップに努めています。 ・困りごとや疑問に感じた事等、相談しやすい環境作りに努めました。 ・施設内研修等で学べる環境作りを行いました。

危機管理	○異常の早期発見、早期対応を行います。 ○他事業所、他施設、医療機関と連携を図り協力体制を整えます。	・訪問時の利用者様の様子の変化に気付き対応できるようスキルアップに努めます。 ・日頃からの状態を職員で共有し普段との違いに気づく事で早期の対応を行います。 ・連携している事業所に対しても必要な情報を提供します。報連相に努めます。
地域貢献	○地域との関わりを深めるためにも交流に努めます。	・利用者様が住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援していきます。 ・ご家族の方、ケアマネジャー等と情報を共有してご自宅での生活を支えていきます。
家族の皆様へ	○利用者様が在宅生活が送れるよう、自立支援を基本に必要な援助や支援を行います。 ○日々のサービス記録をわかりやすく記録し閲覧希望あれば対応します。	・皆様の要望に応えるべく必要時には柔軟な対応も行っていきます。 ・支援内容を分かりやすく説明を行い、記録した伝票を確認していただきます。丁寧な説明を心がけています。

Ⅳ 苦情等の状況

（1）苦情の状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数													0

特徴と対応

（2）事故の状況＞

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数													0

特徴と対応

（3）ヒヤリハットの状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件 数	1			1		1							3

特徴と対応

転倒しかけた：見守りを強化する 買い物支援時のお金の受け渡し：ヘルパーが受け取った金額と利用者が渡したとする金額に相違があり釣銭の金額に対して差があった　➡今後は、渡した金額を利用者本人に自筆で記入してもらい、お釣りを受け取った時にもサインを頂くようにする

Ⅴ 職員の研修への参加状況

（1）外部研修

職 種	日 程	参加人数	研修名・内容等
管理者		名	
		名	
サービス提供責任者		名	
		名	
		名	
訪問介護員		名	
		名	
		名	

（2）内部研修

研修名・内容等	参加職種	日 程	参加人数
接遇	サービス提供責任者・訪問介護員	令和 7 年 4月	5 名
虐待防止と身体拘束	サービス提供責任者・訪問介護員	5月	5 名
熱中症対策	サービス提供責任者・訪問介護員	6月	5 名
プライバシ保護	サービス提供責任者・訪問介護員	7月	5 名
食中毒予防	サービス提供責任者・訪問介護員	8月	5 名
ライフライン	サービス提供責任者・訪問介護員	9月	5 名
倫理的視点	サービス提供責任者・訪問介護員	10月	5 名
事故再発防止	サービス提供責任者・訪問介護員	11月	5 名
感染症対策	サービス提供責任者・訪問介護員	12月	5 名
認知症ケア	サービス提供責任者・訪問介護員	令和 8 年 1月	5 名
カスタマーハラスメント	サービス提供責任者・訪問介護員	2月	5 名
事業所内ハラスメント	サービス提供責任者・訪問介護員	3月	5 名

Ⅵ 総括

昨年より介護・援助の延べ人数が増加していますが、ケアハウスやレジデンスの入居者様のサービス提供が増えている状況です。
在宅のご利用者様が施設へ入所されたり、亡くなられたりと減少しており新規の利用者の獲得が必要な状況です。
今後も利用回数の増回や支援変更等にも柔軟に対応していき利用者の定着にも努めていきます。

恵風会　ホームヘルパーステーション　実施状況

介護・援助　（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体介護1	4	5	11	12	15	14	14	14	15	15	14	13	146
身体介護2	96	114	105	108	90	104	113	105	104	82	78	90	1,189
身体介護01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	100	119	116	120	105	118	127	119	119	97	92	103	1,335

介護・援助　（延べ人数）

身体介護1 生活援助1	27	24	28	32	36	34	36	31	26	29	35	43	381
身体介護1 生活援助2	19	22	21	23	17	12	11	12	11	12	12	13	185
身体介護2 生活援助1	18	22	19	23	21	21	24	25	29	29	28	30	289
生活援助2	0	0	0	0	1	4	6	10	10	8	5	0	44
生活援助3	116	132	115	129	114	124	131	118	105	95	99	114	1,392
身体介護2 生活援助2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	180	200	183	207	189	195	208	196	181	173	179	200	2,291

メ　モ